

一番の宝物

顔を合わしたら喧嘩してばかり それもいい思い出だった

きみが教えてくれたんだ もう怖くない どんな不自由でも幸せは
掴めるだから ひとりでもゆくよ 例え辛くても きみと見た夢は
必ず持ってくよ

きみがよかった ほかの誰でもない でも目覚めた朝 きみは居
ないんだね

ずっと遊んでれる そんな気がしてた

気がしていただけ わかってる

生まれてきたこともう後悔はしない

祭りの後みたい 寂しいけどそろそろ行こう

どこまでもゆくよ ここで知ったこと

幸せという夢を叶えてみせるよ

きみと離れても どんなに遠くなっても

新しい朝に あたしは生きるよ

ひとりでもゆくよ 死にたくなっても 声が聞こえるよ

死んではいけないと 例え辛くても 寂しさに泣いても

心の奥には 温もりを感じるよ

巡って流れて 時は移ろいだ もう何があったか 思い出せないけ

ど 目を閉じてみれば 誰かの笑い声 なぜかそれが今一番の宝物